



みんなで楽しく、さあ踊ろう

夏の風物詩の1つ、盆踊り。今年もお盆の時期になると、盆踊り大会が市内各地で開催されました。どの会場でも、中央に組まれた櫓からは軽快なお囃子が流れ、飛び入りで参加した踊り手たちが楽しそうに踊る光景を見ることができました。また、子どもたちがお囃子を歌ったり演奏したりする会場もあり、三島神社で行われた盆踊り大会でも、荒川侑介君、煌介君の兄弟(共に小学4年)が、自慢の喉を披露していました。



↑ 三島の盆踊りでお囃子を歌った荒川侑介君(左)と煌介君(右)
 ← 飛び入りで踊りの輪は次第に大きくなっていきます
 → 黒磯駅前で開催された市盆踊り大会でも子どもたちが大活躍
 ↓ 子どもたちの楽しそうな笑顔が印象的でした



オリジナルの乳製品を生み出すために

那須拓陽高等学校の生徒が8月17日、茨城グリコ株式会社(常陸大宮市)のアイス生産工場(写真)と、道の駅で乳製品の加工を行う"空のえき そらら"(小美玉市)の施設を見学しました。現在、拓陽高校は市と共同で乳製品の地産地消・消費拡大を目標に、新たな乳製品の開発に取り組んでいます。当日は、普段から授業や部活で食品の加工に携わる生徒15人が参加。製造工程を見学し、目を輝かせながらメモをとっていました。



夜空を彩る大輪の花

夏の夜といえば花火。今年は2年に一度の那須野ふるさと花火大会が那珂河畔運動公園で開催されました。会場やその周辺では、多くの人たちがライトアップされた晩翠橋をバックに打ち上げられる花火を楽しみました。



2



1



3

1 道路を埋め尽くす人。大きな神輿はその間を行く。2 疏水レースでは、未来の開拓者たちが水と若さを弾かせる。3 街中に響く疏水太鼓。その鼓動が祭りには欠かせない。4 踊りを終えて、いち段落。5 練習の成果を披露するキッズダンス。6 花笠踊りを踊る少女の顔に汗が滂む。7 地域や会社のみんで踊る流し踊りの列は、長く途切れない。



4

西那須野ふれあいまつり

7月30日の西那須野駅西口。空は快晴、ほぼ風もなし。気温は30℃を少し超えたほどだが、身体に感じる温度はそれ以上。流れる汗が止まらない。道にあふれる人々の熱気が、この街をアツくする。始まったばかりの夏休みを楽しむ子どもや行き交う家族連れ。その間を大きな神輿が威勢よく通り抜けていく。街中に響く歌声と太鼓の音、そして踊る人。それらが作り上げるまつりは、夏の思い出の1ページに刻まれたに違いない。



5



7